

令和元年度第4回一関市総合計画審議会 会議録

- 1 会議名 令和元年度第4回一関市総合計画審議会
- 2 開催日時 令和2年3月25日（水）午前10時から11時まで
- 3 開催場所 一関市役所 議員全員協議会室
- 4 出席者

(1) 委員

小岩邦弘（会長）、徳谷喜久子（副会長）、阿部新一、砂金文昭、伊藤一樹、
太田久美、大沼佐樹子、菅野佳弘、佐藤弘子、東海林訓、菅原君代、菅原敏、
菅原行奈、千田博、千葉哲夫、辻山慶治、畠山育美、原田哲、三浦幹夫、
水谷みさえ、吉田正弘、若山義典

欠席委員 小山亜希子、菅原正弘、千田久美子、中尾彩子、藤野清貴

(2) 市

勝部修一関市長、石川隆明市長公室長、佐藤正幸市長公室次長兼政策企画課長
阿部繁樹課長補佐兼未来戦略係長、鈴木敏宏政策推進係長、佐藤真央主事

5 議 題

- (1) 総合計画後期基本計画分野別計画について
- (2) まちづくりスタッフ会議について

6 公開、非公開の別 公開

7 傍聴者の数 2人（報道機関）

8 挨拶

(1) 会長挨拶

新型コロナウイルス感染症の関係から開催時間を短縮する。このような状況なので説明を聞いていただき、本日確認しておきたい方のみ発言をお願いし、そのほかは、意見書により提出願いたい。

(2) 市長挨拶

この総合計画後期基本計画で、一関市の新しい時代のまちづくりの方向性をしっかりとつくっていく必要がある。

先日、市議会が終了し、新年度予算も原案どおり全て可決していただき、その予算で事業を展開していく。これから先の市の施策の全体に通じる考え方として、SDGsを掲げた。

総合計画後期基本計画においても様々な施策を展開する際にはSDGsを念頭において取り組んでいく。今後の議論の中でもそのような視点から御意見をいただきたい。

9 諮問

市長から小岩会長へ諮問書を手交

10 審議内容

(1) 総合計画後期基本計画分野別計画について

資料No.13「総合計画後期基本計画分野別計画（草案）」、により事務局から説明を行った。

以下、委員からの意見等。

委員 単位No.1-1-4について、指標項目でニューツーリズム実践件数としているが、現状と課題にニューツーリズムの現状と課題が記載されていない。

委員 ⑥後期基本計画単位施策【施策の展開】の記載方法について、番号が付いているものと付いていないものの違いは何か。付いていないものほどこまごまが一つの項目かわからない。

事務局 番号の順番で後期基本計画に記載することになるが、番号が付いていないものは項目が分かるように統一した表記としたい。

委員 2月に企業の情報交換会があり話を聞いたが、求人情報に求人を出しても応募がない状況とのこと。生産年齢人口の減少が課題である。施策の中で、1-1-2にもものづくり人材の確保と育成の施策があるが、情報交換などは記載しているが今までもやってきたこと。商業でみると、地元で買い物をするとか、地元の産業に貢献するとか、そのようなことが市民の参画になっている。

地元にある企業のことが、地元にもうまく伝わっていないのではないかと思う。一関市民が一関市で仕事ができるように、情報をしっかりと届けなければならない。

委員 単位No.3-1-1の低所得世帯の子どもへの支援の充実について、子ども子育ての新しい計画の中の子ども貧困対策計画の一部であって、まだ検討しなければならない内容となっている。子ども子育て会議の中でも今後検討することとしている。施策の展開における単位施策について、まちづくりスタッフ会議の前に十分検討してほしい。

委員 ⑩市民等の意見反映欄について、どのように反映されているのか分かりやすく説明したほうがよい。

委員 単位No.1-2-3地域内発型産業の振興について、⑥後期基本計画単位施策【施策の展開】の①、「産学官の連携」の部分をも市民の参画欄と同様に「産学官金の連携」としたほうがよい。

委員 単位No.5-2-2共に支え合う地域づくりについて、現状と課題のボリュームに対して、施策の展開があまりにも少なくないか。障がい者や高齢者の様々な問題を住

民が支え合っていくのは当然のことだが、見守り等の知識を事前に伝えることも必要に思う。

委員 単位No.4-3-2低炭素社会のシステムづくりについて、岩手県では2050年に二酸化炭素の排出量をゼロにすると発表した。炭素を低くしていく時代ではなくなってきており、2030年までに今の排出量を50%削減しないと間に合わない。「低炭素社会のシステムづくり」ではなく、「脱炭素社会のシステムづくり」にしてはどうか。

委員 単位No.4-3-1地球環境にやさしいまちづくりの推進について、「化石燃料の使用を節約した取組」とあるが、節約の表現を限りなくゼロにしていく表現にしてほしい。

(2) 資料No.14「まちづくりスタッフ会議について」、により事務局から説明を行った。以下、委員からの意見等。

委員 審議会委員について、各部会2名とあるので、全体で10名がスタッフ会議に参加するということか。

事務局 そのとおりである。

委員 審議会委員の参加は、1回から5回を通しての参加か。

事務局 その捉え方でお願いしたい。

11 担当課 市長公室政策企画課